



## ガバナーメッセージ

国際ロータリー第2510地区

2022-2023年度ガバナー 石丸 修太郎  
(札幌西RC)

とうとうロシアがウクライナの4州を併合してしまいました。領土をめぐる戦争は前世紀のものと思っていた自分が如何に平和ボケをしていたのか痛切に感じさせられるこの頃ですが、クラブ訪問は続いています。

先月では第9グループのクラブを回ったところまでの記載でしたので今回は第8グループのクラブからの訪問記です。9月12日は良い天気の下、2時間半のドライブで三石RCに伺いました。市町村合併の影響が大きいとの話を伺い、その後えりもRCに向かいましたが、少々時間あったので何十年ぶりかでえりも岬に行って来ました。

お天気が良く波も静かなえりも岬は初めての体験で、にわか観光客となって歩いてきました。その後投宿先に車を置いてえりもRCには徒歩で向かい夜の例会に臨みました。

翌日は様似RCに伺いその後、高村AGさんの牧場を見せて頂き競走馬の育成を見ることが出来ました。夕方には浦河RCでの例会に臨みましたが、コロナ禍ということで食事は無し、その代わり少人数で美味しい焼き鳥を頂きました。第8グループの最後は静内RCで、8月に地区野球大会でお世話になっていたのでとても打ち解けたムードで訪問をすることが出来ました。

翌15日は、クラブ訪問の最大の山場で、コロナの影響で訪問を延期した2つのクラブに伺いましたが、最初が長万部RCで130km走り着いたのは町役場。町長さんも会員ということなので町長室で、吹き出た水柱のお話を伺い、例会終了後は高速道路で220kmを走り岩見沢RCへ遅れず到着し訪問することが出来ました。嵯峨PGの熱い出迎えを賜り感激でしたが、コロナ禍ということで会食無しのお持ち帰りのお弁当で、別室にて少人数で少々アルコールも入れてお弁当を楽しませて頂きました。

その翌日は、第6グループの最初の訪問は小樽南RCへの訪問でした。ガバナーエレクトの松浦さんが待ち受けて頂き、温かなムードでの例会を行うことが出来ました。

その翌週は月曜日と金曜日が祝日と言う中、火曜日から木曜日まで2泊3日で、第6グループの小樽RC、蘭越RC、倶知安RC、余市RC、岩内RC、小樽銭函RCの6つのクラブを回りました。いずれのクラブにおいても心熱きロータリアンに迎えられ友を持つならロータリアンという言葉が身に染みた次第です。吉田AGさん準備の程有難うございました。

26日からとうとう地元の札幌におけるクラブ訪問が始まりました。最初は、出村ガバナーノミニーが所属する札幌北RCで素敵な会場で和やかな中での訪問でした。その夕方は札幌はまなすRCでこじんまりとした、でもとても温かなムードの中5年ぶりの訪問を楽しむことが出来ました。

9月の最後は札幌真駒内RCでしたがとてもエネルギー活動がされていて、亡くなられた丸山PGもさぞ天国から目を細めていることと推察した次第です。

10月に入り札幌南RC、札幌清田RC、札幌大通公園RC、新札幌RC、札幌東RC、札幌幌南RCと最後に札幌ライラックRCの7つのクラブを1週間で訪問しました。3年間一人も退会者の居ないクラブ、持ち寄りで例会後に楽しい懇親会をされるクラブ等々実に個性のあるクラブばかりで楽しい訪問でした。そして美味しい御飯を用意して頂き感謝であります。



この間、ウクライナの第2232地区より大日向副ガバナーが寄贈した救急レスキュー車に対するお礼状を頂き、その後の支援について要請を受けたのですが、ドイツの地区では異なる形で人道支援を行っているとの交信が始まったり、地区大会の準備で連絡や資料作りをしたりと、本業をする暇もない状態でした。

この文書を読まれる頃は地区大会も終了してほっとしているのでしょうか。